

私立 千葉商科大学付属高等学校 シラバス

国語科「現代の国語（1年普通科総合進学コース）」	単位数	2単位	学科	普通科
	学年	1年	組	A～E組

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げ深める。 2. 優れた表現に接してその効果を考え、自分の表現に役立てる。 3. 様々な問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べる。 4. 自己の進路開拓をしていく上で基本となる力につける。
-------	--

育成する資質能力	「向上心」「思考力」「判断力」「表現力」「創造」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	・授業内容を理解している。 ・基本的な語彙に加え、正しい日本語や漢字の知識が身に付いているか。	・授業で学んだことを活用できる。 ・基本的な読解力、表現力が身に付いている。	・提出物を期限内に提出することができている。 ・誤字脱字などをせずに、授業で示されたルールに従って提出物を作成している。授業態度など問題がないか。
評価方法	定期考查 90%程度 全校一斉漢字テスト 10%程度	定期考查 100%	提出物など 100%
配分	70%程度	20%程度	10%程度

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第1学期	【中間考查範囲】 評論「水の東西」 論理分析「間の感覚」	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み解する上での基本を身に付けます。 ・比較しながら論証する評論に触れ、論の展開の仕方を学びます。 ・日本文化と西洋文化の違いについて理解を深めます。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・i Pad を効果的に活用する。 ・第1回全校一斉漢字テスト ・中間考查

	<p>【期末考查範囲】 小説「羅生門」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 芥川龍之介について学びます。 小説を読解するまでの基本を身に付けます。 登場人物の心情を読み取り、主題について考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 期末考查
第 2 学 期	<p>2学期</p> <p>【中間考查範囲】 評論「『文化』としての科学」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 評論に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取ります。 科学と技術について比較し、整理します。 現代社会における科学と技術の関係について理解を深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> i Padを効果的に活用する。 第2回全校一斉漢字テスト 中間考查
	<p>【期末考查範囲】 小説『城の崎にて』</p>	<ul style="list-style-type: none"> 志賀直哉について学びます。 構成に注意しながら、主人公の心理的推移を正確に辿ります 作中で示された死生観を理解し、自分の考えを深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 期末考查
第 3 学 期	<p>【学年末考查範囲】 評論「現代の『世論操作』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報操作の具体例を踏まえ、筆者の考え方を読み取ります。 現代社会におけるメディアの在り方について、自分の考えを深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> i Padを効果的に活用する。 第3回全校一斉漢字テスト
	<p>評論「不均等な時間」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体例や対比の構造を活用し、筆者の考え方を読み取ります。 「時間」というテーマのもと、「近代」や「合理性」について理解を深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年末考查

使用教科書	第一学習社『高等学校 現代の国語』
副教材	<p>東京書籍『新総合図説国語』</p> <p>いいずな書店『入試頻出漢字+現代文重要語 TOP 2500 四訂版』</p> <p>第一学習社『現代の国語 学習課題集』</p>

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	将来の目標に向かって土台を作る大切な授業です。国語の学習方法や論理的な考え方を身に付けることを心がけてください。そのためには、授業を受けるだけではなく家庭学習が必要になりますので、予習・復習を欠かさぬようにしましょう。 また、検定の取得などを通じて日本語の感覚を磨き、語彙力を高めましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	高等学校国語の基礎を体系的に学習しますので、毎時間の授業内容を確実に理解することが大切です。疑問点や、より深い内容を知るために、必ず辞書や『新総合図説国語』を携帯しましょう。
その他のアドバイス	この授業を通じて高等学校国語の基礎固めをし、自分の得意分野・不得意分野を把握して、今後の学習計画を立ててください。特に、自分の進路（コース）を考える上でも参考になる科目ですので、積極的に取り組みましょう。

